

『六ヶ所村ラブソディー』『ミツバチの羽音と地球の回転』の鎌仲ひとみ監督最新作!

小さき声のカノン

— 選択する人々 —

Little Voices from Fukushima

Directed by Hitomi Kamanaka

福島—チエルノブイリ
国境を越えて
「被ばく」から子どもを守る
母たちのドキュメンタリー

1986.4.26
Chernobyl

2011.3.11
Fukushima

希望は「間」にある

「保養」
ってなに?



監督 鎌仲ひとみ × 音楽 Shing02 × 製作 ぶんぶんフィルムズ

www.kamanaka.com/canon 2014年/カラー/デジタル/119分/配給:ぶんぶんフィルムズ

主催:小さき声のカノン越谷上映実行委員会 後援:越谷市教育委員会

子どもたちに **いま** 必要な「保養」とは？

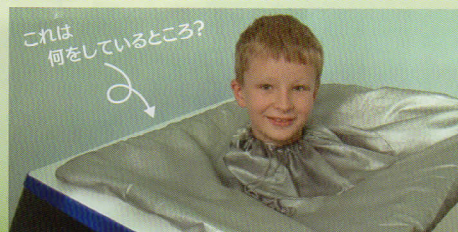


国境を越えてつながっていく、「子どもたちを守りたい」という思い。

福島原発事故後、子どもを被ばくから守るため避難を選択する人もいれば、福島で暮らすと決めた人もいます。福島で暮らすと決めたお母さんたちは、泣いてばかりでは解決しないと、子どもを被ばくから守るため自ら新しい選択肢を作り出していこうと動きだす。

一方、チェルノブイリ原発事故後のベラルーシでは子どもたちの被ばくを軽減する「保養」という取り組みが29年経った今でも続けられている。その具体的な内容と驚くべき効果とは？

事故から4年、日本でも被ばくを軽減する新しいステージが始まった。放射能についての危機感がしだいに薄れ、事故の風化がささやかれる今だからこそ、誰もが観るべきドキュメンタリー。



同じように悩み、迷ってきた母親の一人です。現実には厳しいけれど、お母さんたちの連帯から生まれる希望が描かれていることに、励まされました。この映画を通して、さらなる連帯が広がることを願っています。

俵万智さん(歌人)



小さき声のキャン — 選択する人々

Little Voices from Fukushima
 出演：福島県二本松市のお母さんたちほか
 監督：鎌仲ひとみ プロデューサー：小泉修吉 音楽：Shing02 撮影：岩田まさこ 録音：河崎宏一 編集：青木亮 助監督：宮島裕
 宣伝：梶谷有里 村井卓実 製作・配給：ぶんぶんフィルムズ 2014年/カラー/デジタル/119分 © ぶんぶんフィルムズ
www.kamanaka.com/canon

「保養」とは...

- 子どもたちが健康を取り戻すための“合宿”のようなもの。1986年、チェルノブイリ原発事故を経験したベラルーシでは、今年間10万人の子どもたちが保養を受けている。
- 日本でも市民グループが全国各地で保養を始めている。

Sunday
 12/4

上映時間

第1部 10:30 ~ 12:30 (開場 10:00)
 第2部 14:00 ~ 16:00 (開場 13:30) 託児あり

上映料

1000円 (中学生以下無料)

託児

500円

申込み

①氏名②電話番号③メールアドレス④住所⑤人数⑥お子様託児有無を明記の上 canon.koshigaya@gmail.com までお申し込みください。

